

新柳
語髮

浮世床

三
上

號	十	第
一組	至	自
册	卷	卷
天	十	五
册	卷	卷
		十
		册

14
3157
42(8)



44
3157
42
(8)

文好正切人々心高し。凡種でもき酒蒸
文好正切人々心高し。凡種でもき酒蒸
 下を好く。繪所と作者と板元と三人あり。ハ
下を好く。繪所と作者と板元と三人あり。ハ
 洋とも。正月心乃新板三昧久の物と傍
洋とも。正月心乃新板三昧久の物と傍
 人々を好む。門松も東海絵画本社製。蘭
人々を好む。門松も東海絵画本社製。蘭
 ける。店を他の軒より青めくる。此持まりと。
ける。店を他の軒より青めくる。此持まりと。
 思ふも。己が好の道いふ。世宿の口入と。
思ふも。己が好の道いふ。世宿の口入と。



通^{とほ}と^と筆^{ひつ}者^{しや}其^{その}取^とり^とを^をま^まじ^じの^のは^はら^ら松^{まつ}木^ぎ
 の^の借^か借^か他^た者^{しや}仲^な人^{ひと}其^{その}上^{かみ}に^に探^{たず}も^もは^はま^ます^す輕^{かろ}ま^ま
 ま^まじ^じの^の請^う取^け取^とり^とる^る夏^{なつ}乃^な日^ひの^の出^いで^での^の場^ばに^に
 由^{よし}由^{よし}と^と何^{なに}も^もと^と置^おき^きて^て月^{つき}見^みて^て一^{ひと}日^{にち}の^のた^たら^ら
 の^の節^{せつ}目^め今^{いま}日^{にち}我^{われ}把^{つか}着^かる^る乃^な草^{くさ}紙^しに^に書^かけ^ける^る
 探^{たず}ぬ^ぬを^を中^{ちゆう}へ^へ他^たの^の借^か借^か者^{しや}乃^な探^{たず}ぬ^ぬを^をま^まじ^じに^に

か^かく^く加^かへ^へく^く淺^あ草^{くさ}の^の只^{ただ}々^々六^むの^の鹿^{しか}を^をい^いひ^ひ
 觀^{かん}音^{おん}落^{らく}地^ちの^の利^り益^{えき}紙^しを^をい^いひ^ひ作^さ料^{りょう}に^に其^{その}紙^し
 へ^への^の本^{ほん}文^{ぶん}を^をい^いひ^ひし^しま^ます^すを^を序^{しよ}文^{ぶん}や^や跋^{はく}文^{ぶん}に^に
 項^{きやう}指^しの^のあ^あれ^れひ^ひを^をい^いひ^ひし^しま^ます^すを^を序^{しよ}文^{ぶん}や^や跋^{はく}文^{ぶん}に^に
 接^あひ^ひと^とば^ばひ^ひが^が板^{いた}元^{げん}中^{ちゆう}の^の書^{しよ}と^と好^{この}み^みの^の忽^{とつ}後^ごを^を備^び
 町^{ちゆう}南^{なん}仙^{せん}笑^{せう}の^の投^なぎ^ぎを^をい^いひ^ひし^しま^ます^すを^を序^{しよ}文^{ぶん}や^や跋^{はく}文^{ぶん}に^に
 幾^{いく}度^ども^も

毎夜山言の如く。列て易の身作者。
 文章貴し。松まきて。柳葉新語の二編目と。
 本丁庵の主人。三年と云ふは。しるしが。
 近來先生。多病して。風氣の如く。麻痺
 も。遊ぶ。事。少。し。何。ん。今。年。八。十。利。で。
 弟。の。世。間。の。事。を。教。の。信。の。事。を。傳。へ。

釋文の。麻痺。其。種。人。の。世。間。の。一。れ。如。く。
 有。の。世。間。の。事。を。傳。へ。て。信。の。事。を。傳。へ。

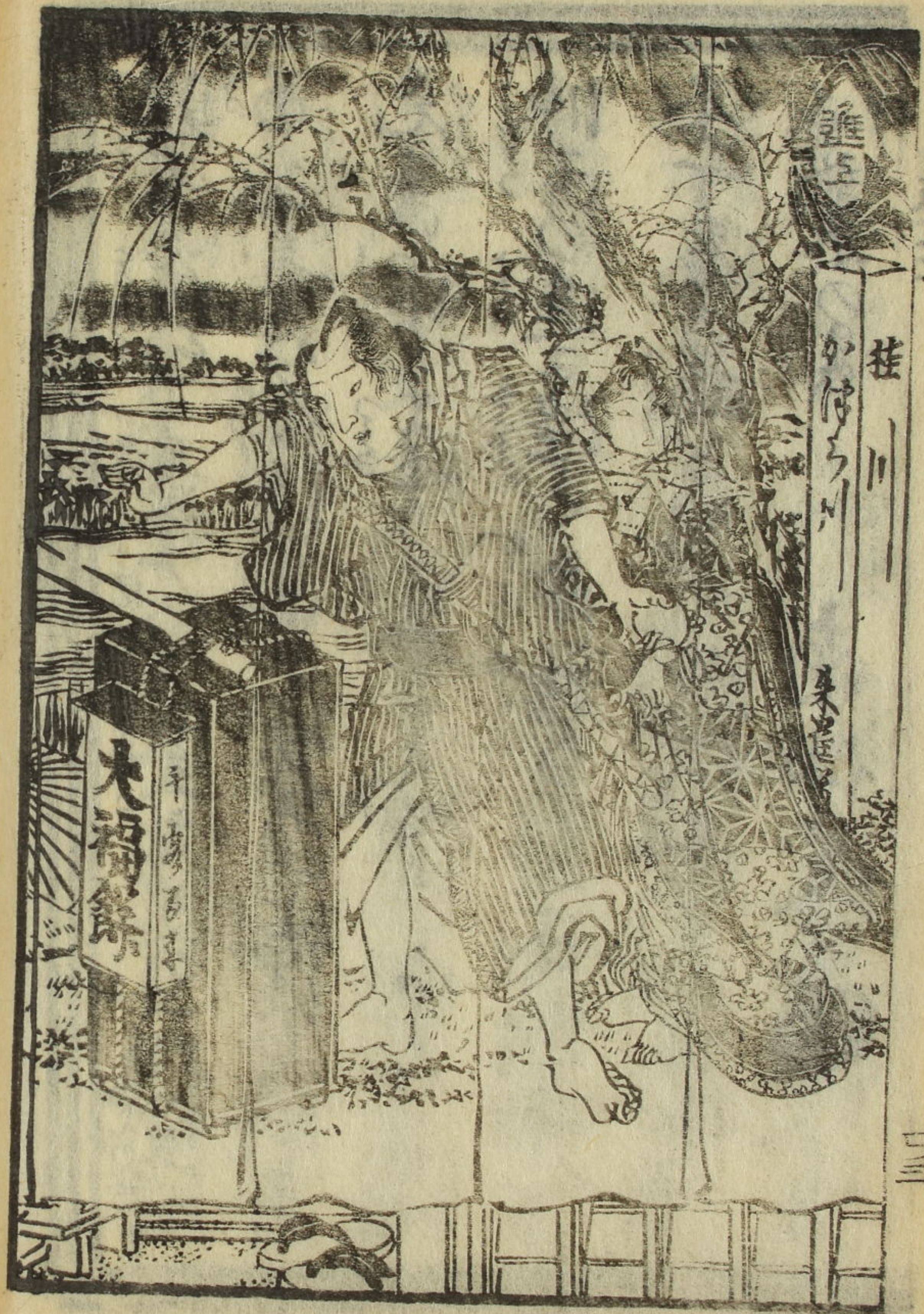
先生の。門。下。の。連。り。三。編。の。と。云。ふ。は。し。る。が。

師。の。進。歩。は。未。熟。な。が。ら。二。世。の。人。

本丁庵の。想。と。か。り。て。教。訓。事。の。事。を。傳。へ。

癸未の暮

南仙笑る

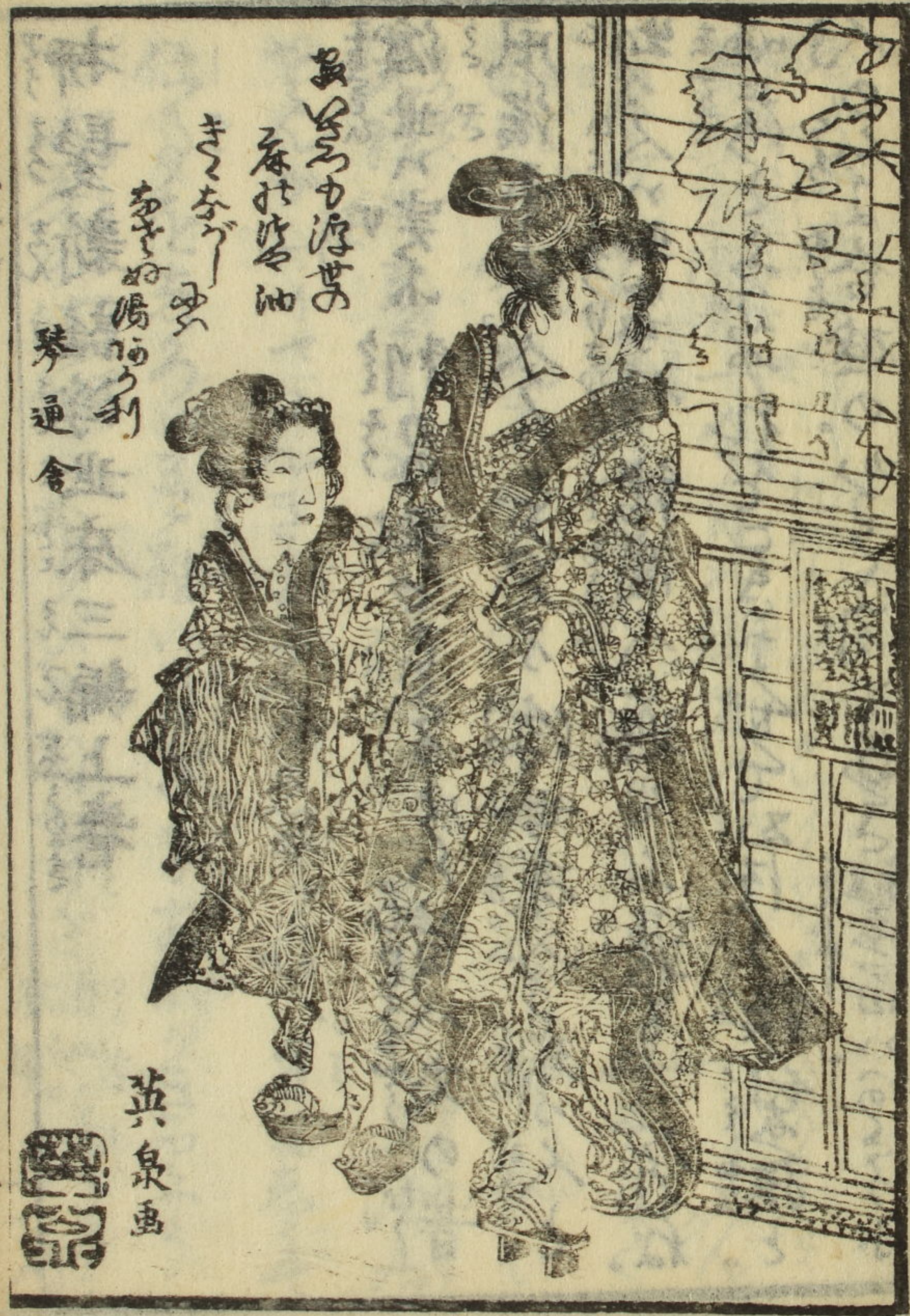




夜三

四

新板
 前 御幣川の仇討
 後 紀文太
尚叔中白主林堂少く
 うまな
 さくや 廻樹
 奇談 鹿が関
誘方小玉席作
 叶 海魚



あまのゆき

あまのゆき

あまのゆき

あまのゆき

あまのゆき

英泉画



天三三



あまのゆき

天三三

天三三

柳髮新話浮世床三編上卷

波世の實不利の刃を以てするらん昔八丈の首
 風信ふして今んさるらん浮世床のあつた人と
 出る人の出家侍結商人通もふ通も一トたね
 酒後とふさやれをこきやせてみはる結髪猪と
 人のふよ合磁のかりく同もあるき結髪留のあつたふ

ちやア、いんふねく用でおまゝとハアアとさぐ
 苗が獨り。ア、まゝといめりやんぞナ。舞臺も
 え孩もあつたりそふも行くブ「そらく又浮世
 せんが「イヤんまよさんかちやアねく。身よあま
 仕のをさるる。ア、まゝといめりやんぞナ。舞臺も
 けい床の法利ハあまびもねくるぞ

月代を洗つてのり
 存助といふ人

所で。邦のぶ。疑ご。空が。く。イヤ。ちの。と。根
 が。あ。く。ま。よ。う。ご。ぜ。根。の。ま。る。く。
 愛。さん。サ。ア。ご。ご。ら。く。ッ。ア。イ。あ。と。が。あ。る。こ。の
 小。傍。り。く。つ。ま。ま。子。官。で。あ。る。ら。ん。こ。の。お。り。の
 止。に。る。の。こ。の。彼。は。さ。ら。ち。が。あ。ら。う。ら。う。や。ご
 通。る。ぞ。い。れ。み。も。あ。れ。代。ご。ア。あ。ら。れ。く。で。サ
 西。月。の。う。ち。の。大。お。後。を。ま。ら。れ。申。た。一。季。之
 以。く。ご。一。エ。今。う。い。ま。ッ。て。十。七。だ。が。ね。け。前。ろ

世。で。こ。の。一。シ。ん。ご。と。世。お。ご。ア。ホ。コ。ホ。ン。を。と。ッ
 盗。取。ら。つ。み。ま。う。り。現。世。あ。く。の。屋。で。ホ。ン。く
 考。を。と。さ。せ。て。た。び。く。え。ド。を。か。く。の。あ。ら。う。と。ッ
 そ。ん。ま。る。の。を。い。ふ。と。切。り。や。せ。ラ。ッ。ト。案。案
 く。イヤ。く。あ。れ。の。り。一。日。あ。ん。む。う。あ。ら。ん。
 箇。が。あ。ま。か。ら。の。あ。ら。う。ら。ご。ん。ぞ。そ。う。し。て
 あ。え。ん。ま。せ。ん。こ。の。も。あ。ま。の。天。宮。よ。の。あ。せ。れ。る。
 る。ら。む。り。く。それ。ご。と。ら。く。ご。の。國。り

俵小提

おぼろひかたてたての
つとてしとてし
たののろしき
あつて

琴松金持重

あつてしとてし
本田の侍せぬ
あつてしとてし
あつて



琴通會

きんくわん
あつてしとてし
あつてしとてし
あつてしとてし



曲マフをそのうちをやらねう。まよふ人を見ん
 「何ナニ移うつ入いるがまりのう。かくさうく」おやさん
 仕しひをえうけく。そんなまきかひなきく。しつり
 おうおちちううののままややせんせ。ヤアヤくくままくくままくくままくく
 へあへががりりいいけけねねくく「どどんん」たたののどど「アア
 究究らんらんくくままくくままくくままくくいいぬぬままくくままくくままくく
 ちちくくままくくままくく「イヤイヤココららののままややれれどど」ドドトト
あつてまきと

のぞのエエ、いいままくくくくのの蓋ふた生なままくく前まへ。ええくくららののままが
 ありあり。ああののちちくくしてしてままくくててられられ。アア、りりんんが
 ままくくららののままくくくくははままくく。チチヨヨツツ。ああささけけ移うつ入い
 りりどど「アアハハ」ハ「アアハハ」ハ「ヤヤ」ヤくく今いまののまま
 持もち繁はげまま甘あまううととままくくててままくくよよままててままくくこののりり
 おお急いそ移うつ入いるるどどままくくままくくままくくままくくままくくままくくままくくままくく
 ココレレ 翠あざくく毛けととをを解とけてけてままくくッッ持もち入いててららままくく後あとよ
 「今いまののいいそそががいいうう。後あとままくくよよででももままくくててああここ」

連中不珍金満の能子機半り。ビイくハ
 コロしと喉をむくサ。そこで能子でるくま。
 するなる景抄で流をどうう。能向ハゴロと
 でもりと只中写で。ちとらんをともあつび
 毛種くう。なするなり。叙抄か出さくう。
 いのそ残をこのなりうけど。又うあついであげ
 ありといふたくらみで。かんぐんか。あつ
 叙おまかけ後振よ。あもくなくとそく味くら。

いう後入りんご子。ハ。そこそそ素おハみ
 六十七でお入りの将基の駒をト組出をつりうサ
 張ハテ子。そをそ先ありあ人の口し悪あんや。
 ぶきやや。何うで多しあよあうて。又足ゆつ
 けり。清正様と久敷がけを考ておか。中り。
 かしくあゆことういん。さういせううで。さる茶梯あ
 けりて。室あふしそあうのを。いんしそまことう
 以んあふしそあふしとあふし。はあふし入す。

舟三上
 舟論めその筋ハ。沢山とごごりまをが。男ハどうも
 ぶつてらで。きりきりまをが。男ハどうも
 げくく。はるりく。あひまをが。そのと金ま
 糸アきき。いけく。彼の物ねおを出しを
 フウ丸。そまを。蓋を。明く。虎とヤの
 ハ。あんと。通の。色ハ。あひりので。ごごり
 ちん。ト。箱く。ちん。けて。えん。く。花。これ。ぐ。
 虎の王で。ごごりまをが。王将を。だ。を。

眼。ごごり。眼で。ごごり。まをが。あひ。経。船。合。おの
 指。で。ごごり。まをが。えん。を。あ。で。ごごり。まをが。
 丸。ハ。別。記。で。ごごり。まをが。と。記。を。出。て。えん。を。
 ちん。は。是。と。並。べ。て。えん。まをが。と。は。あ。ひ。り。く。と。
 あり。あ。い。の。が。出。来。まをが。サ。ク。く。ら。く。く。
 又。毛。で。ごごり。まをが。と。は。あ。ひ。り。く。と。は。あ。ひ。り。く。
 窟。と。えん。まをが。と。毛。が。む。ど。く。の。び。まをが。と。は。あ。ひ。り。く。
 する。まをが。け。毛。の。う。ち。ら。は。ち。り。く。と。は。あ。ひ。り。く。



八橋舎

ちんちんの
 ちんちん
 ちんちん
 ちんちん
 ちんちん



琴通舎

老の身
 老の身
 老の身
 老の身
 老の身

寅よこそさうりませんが。さうりよりのるとさうりぞ。
 おどろりませと。やめていざいざらう子。イヤ
 ぬく。是れは疑て。成程さうツア
 葉をんよるの。ノウ物もさうんでも人よ。お後
 きてるるがうせ。モシこしちやま。さうりとも
 葉。さうりぞ。さうりぞ。かんで。かんでるせんナ
 張。さうりして。あ。後くるるが。出る
 ものう。さうら。葉。の。流。り。よ。か。んで。さ。も

役。あ。た。わ。れ。く。さ。う。り。て。く。今。落。を。は。け
 る。さ。う。り。と。培。林。へ。今。風。て。ぬ。ぞ。さ。う。り。ぞ。あ。ね。が。い
 だ。小。傍。と。目。ら。う。り。さ。う。り。と。ん。ら。き。め。ん
 一。さ。う。り。も。一。さ。う。り。も。さ。う。り。も。さ。う。り。も。さ。う。り。も。
 葉。の。さ。う。り。今。夜。あ。め。を。り。葉。と。
 葉。を。ん。の。人。が。ね。く。と。い。ふ。さ。う。り。イヤ。ぬ。が
 さ。う。り。と。景。お。り。さ。う。り。十二。支。を。楊。子。で。さ。う。り。と。
 け。さ。う。り。が。さ。う。り。マ。ジ。親。方。よ。居。い。と。い。ふ。ん

朱三上

だくろ「わくろちしとニツサ。そこでほろろが宮づく。
 同の赤い雨あつが巻まきヨよ「へんまのわがへびく」仕し
 りをきく居いる雨あめが「たろきさ」あ「々道果みちのこが
 馬うまで。ゆのいもちめくま「あつあつが様さまで。ふト。
 何なにが考かんがえだろろ「驚おどろく。あつあつをさく。驚おどろまげ
 をきて内うちよ大おほろ「々々いんく。さつてさつと遠とほく
 のりこ知しが百ひゃくろ百ひゃくのさつさつろつ。蛇へびまがまんて。
 驚おどろると太おほとろろろ。猪いのでござる手てをさへいどろ

だくろ「ハ〜〜」あ「〜」あ「〜」あてんぐの楽たのしみ書かきせ
 んきよさんよあ〜て世よあるうろ人のるのやで。
 大おほろよあせ様さま〜あ
 おめんろせく。まどつろて居いるまをさ子こ「ハイあいで
 るさひ。モウははでござるやまを」あ「コレ其その路みちのあま
 だろろ「あきえいどふせ控おぼんでいるさるだろろ
 そ〜てまど毛けを忍しのび解とゆるでら取とか〜と見み
 一ひとそでござるていろとまふら〜るのろあ「えん

一すたとたむね^{ちやう}やせう^{やせう}「何^{なに}く^く今日^{けふ}の^の面^{めん}が^が。
 ひま^{ひま}く^くや^やら^らこ^こヨ^ヨ「そ^そど^どぐ^ぐも^も年^{ねん}が^が形^{かたち}ろ^ろと^とき^き味^{あじ}の^の
 っ^っり^りい^いの^のん^んご^ごそ^そや^やア^アそ^そふ^ふと^とモ^モシ^シ。今^{いま}日^ひの^のこ^ここ^こも^も。
 面^{めん}と^とり^りの^の仕^し度^どは^はあ^あさ^ささ^さこ^こん^んを^をや^やり^りて^て子^こ。魚^{うい}ん^んふ^ふ
 子^こを^を乗^のり^りて^てき^きま^まを^をく^くく^くろ^ろろ^ろい^いう^うろ^ろく^く刊^{かん}も^も
 た^たこ^こぎ^ぎよ^よ。厚^あッ^ッて^て来^きや^やと^と「ハ^ハア^アど^どん^ん〜[〜]と^と「イヤ^{イヤ}
 を^をも^もこ^こも^もお^おは^はか^かこ^ころ^ろの^のま^まは^はみ^みけ^けろ^ろが^が。こ^こは^はあ^あ

あ^あ〜[〜]マ^マッ^ッを^をお^おご^ごい^いと^とお^おが^がけ^けよ^よ。年^{ねん}お^お〜[〜]ゆ^ゆく^くと^と
 ち^ちの^のて^てあ^あ回^{わい}核^{かく}〜[〜]か^かろ^ろと^と核^{かく}を^をあ^あろ^ろ〜[〜]中^{ちゆう}年^{ねん}場^ばが^が。
 先^{さき}く^くた^たッ^ッて^て作^{さく}を^をと^とあ^あで^で例^{れい}の^の好^{こう}お^おこ^こい^いの^のん^んご^ごろ^ろ。
 形^{かたち}面^{めん}お^おが^があ^あ〜[〜]あ^あ〜[〜]ろ^ろの^のて^てお^お〜[〜]早^{はや}に^にお^おぬ^ぬ
 けて^て形^{かたち}を^をえ^え〜[〜]こ^ころ^ろが^が中^{ちゆう}肉^{にく}を^をす^すえ^え抜^ぬ小^{せう}及^{じつ}各^{かく}
 の^の採^{さい}ッ^ッ〜[〜]代^{だい}お^おサ^サ。あ^あ〜[〜]か^かろ^ろの^のふ^ふろ^ろお^お〜[〜]ひ^ひま^まご^ごこ^こで^で。
 目^めが^がを^をれ^れ眼^{がん}縁^{えん}〜[〜]ろ^ろの^のて^てお^お〜[〜]は^は〜[〜]く^く。涙^{なみだ}を^を
 ち^ちろ^ろ〜[〜]子^こだ^だ〜[〜]ち^ちい^いろ^ろあ^あ〜[〜]を^をま^ま婦^ふ壇^{だん}〜[〜]で^で。

今お記ぬけよ里へ欠出ーだろふと先初しを
 つけやとそこうらまひ麻の糸を縫よるり。
 先よるり。袴の中ごろ返ゆくと榮子へあり
 かうて川の中を泳ぐ。あまうらよるれぬぐら
 洋中とこさしと二三岡坊さし けれどぎよ
 をるえんごらまよとんでえくつらと。あまの
 袷がぶつてお子ぶもかうてんがゆわぬぐら。
 返りうてそつと袷へさううてえると。あまをう

石をいひてく飛ぶ。まぶつてのぐまを雨でいれきたる
 女をみるのうたーくは伏も移こしるゆでふる芳あきをかし
 後のと。将のち久移入いきの甘あ人のんごら
 強コアアくそごで。ごんーい。おむあ葉。そまうら
 おぼるせ人。こーもさく人あつうら。うしろうら
 ありり押おして。あまをうらうらけりあぬぐ。
 ちまあるう芳あきはさし。アアあうち人あまはさしを。
 おものうら。あまのふあまをうて。かむらを

忍 語面齊後丸

をけりよ

あむあむの

引とひるの

あつたの

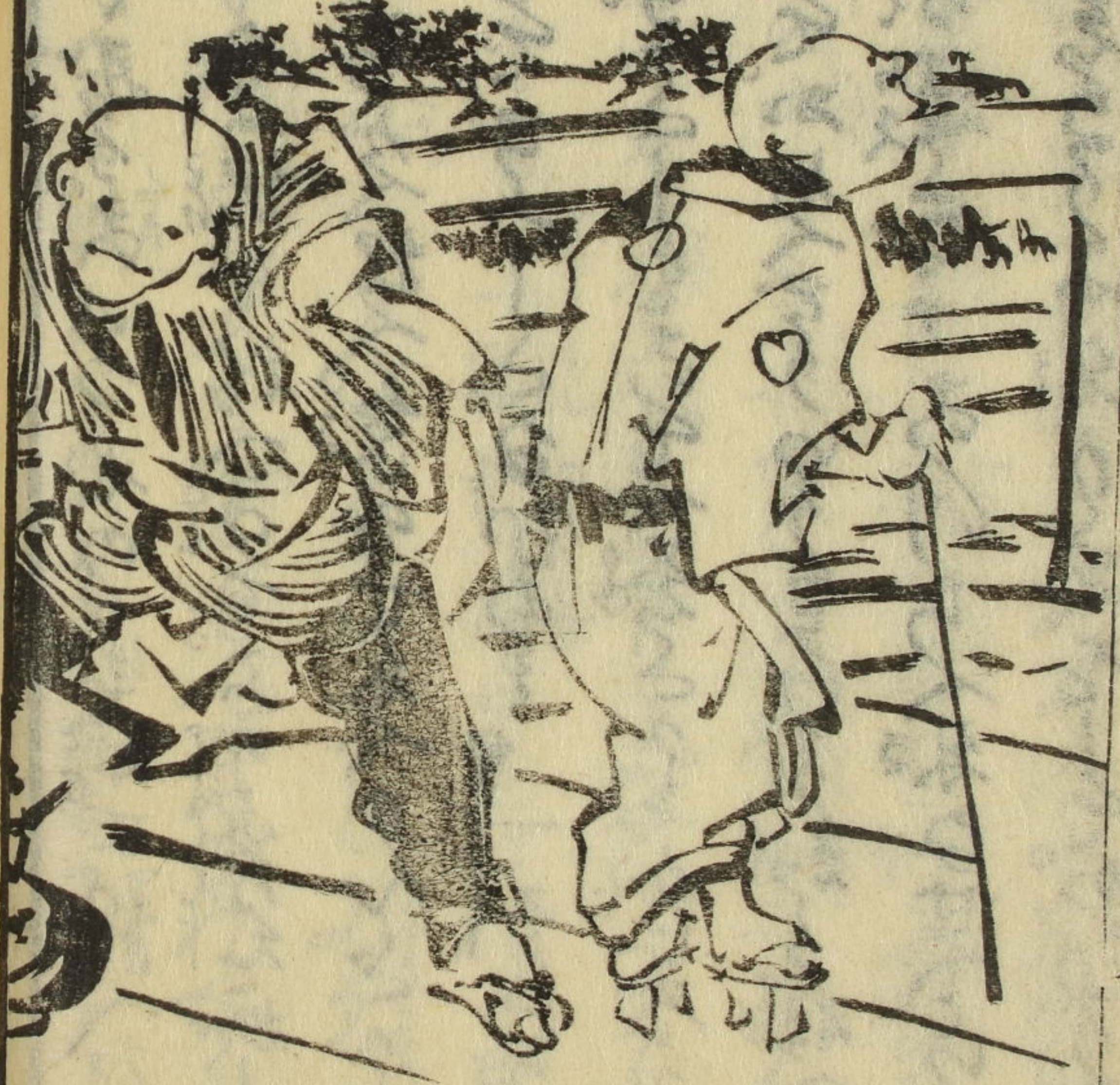
八橋舎

どんぐりともおれん

おれおれ

たりのあめた

いりり



琴樹岡

二喜

か

身乃

子細を

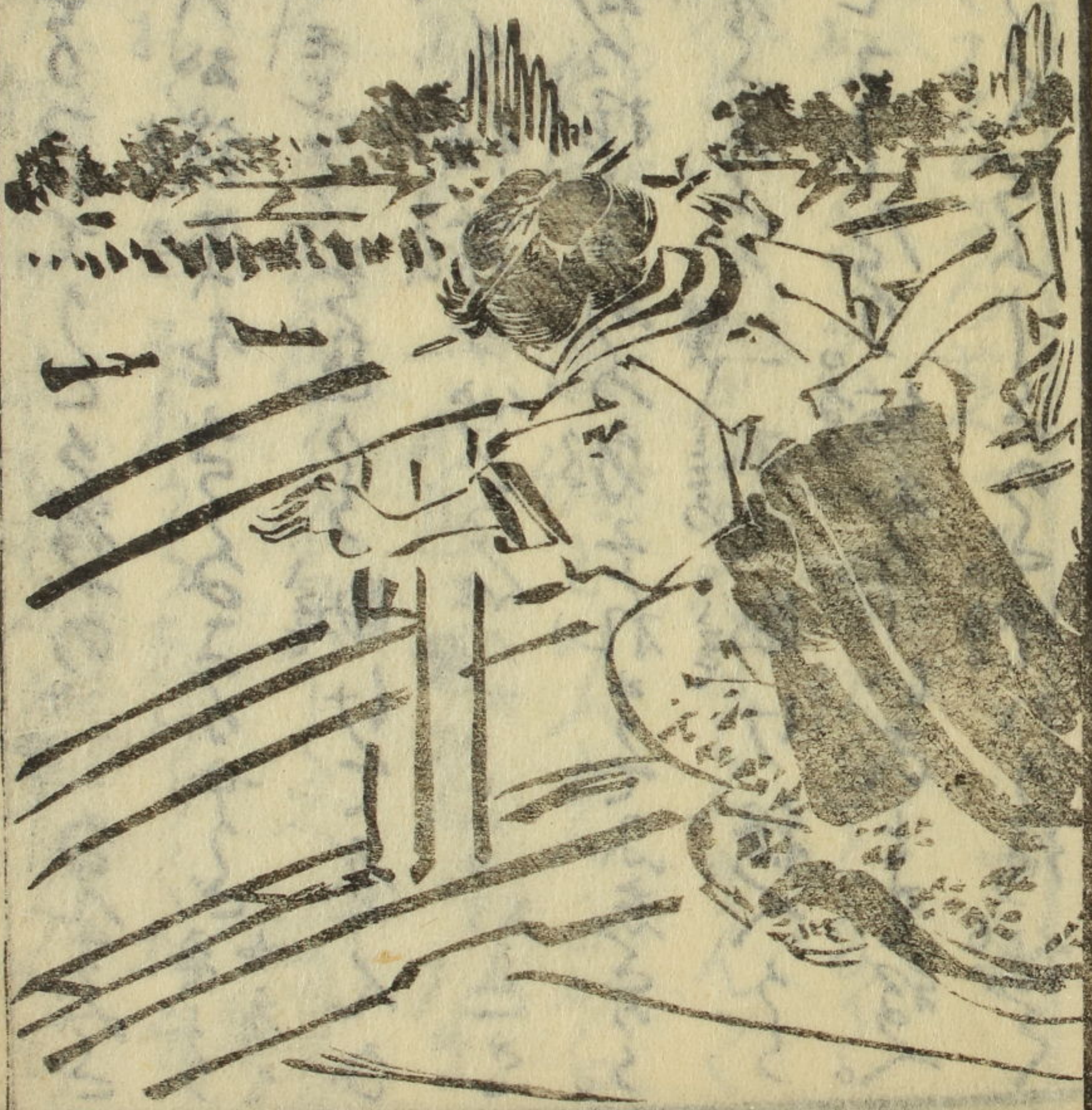
とくや

そり

今つあむ

云の葉の

よ



込こどとがが。けけくくぞぞろろくく人人ががほほののくく来来くく。葉葉
 屋屋ののああへへ悪悪心心のの振振よよ。集集ててりりくくるる。たたアアももんん
 りりやや。ここここーーががりりををててくく。だだろろうう。るるんんぞぞととははくくふふ
 俸俸利利ををアアががるる。一一亭亭とといいくく。ここののああののももととははくくふふ
 ががててくく。一一ののふふああののががててくく。りりががああるる。りりののうう。おおつつがが
 こころろとといいてて。ここののああららいいののんんぢぢやや。後後。ここののここじじがが。
 りりふふいい。おおめめ人人ハハママ。ううくくみみるる。ここののももああるる。ううがが。ままままらら
 死死ぬぬ程程ののりりででももああるる。めめ人人。ままがが。等等ををああががめめてて。

孫孫をを教教ええるる。おお持持よよでももああるる。ここののううとといいらら
 たたううそそのの女女がが。ううくくままここーー教教ををああげげてて。けけししげげるる
 教教でで。ここののああららいいののんんぢぢやや。後後。ここののここじじがが。
 虫虫歯歯でで。夕夕夜夜通通しし。ままんんぢぢりりととももせせぎぎとと。ううららああんん
 だだうう。ううららああんん掛掛ををああるる。ここののここじじがが。
 せせままをを。モモウウくく。けけををああららとと。けけつつ。ううくくいいららんんででくく。トト。
 又又わわららくく。酒酒ををああららとと。法法ををああららとと。フフムム。そそんん
 るる。まままま。ナナゼゼ。結結くく。石石ををいいままとと。居居るる。とと。ああらら

何^{なん}も^も石^{いし}で^でい^いぢ^ぢら^らう^うま^ません^んト^ト出^でて^てえ^えせ^せら^らと^と
 大^{だい}き^きの^の利^りお^お子^こが^が二^にッ^ッヨ^ヨ一^一の^のん^んご^ご身^み投^なげ^げて^て行^いく^くの^のり^り
 イヤ^{イヤ}な^なら^らく^く一^一は^はい^いせ^せら^らる^るせ^せん^んぢ^ぢら^らあ^あら^らう^う行^いく^くは^は
 ろ^ろう^うて^てま^まて^てら^らい^いら^らう^うも^もあ^あん^んま^まう^うか^かま^まん^んも^も
 先^まむ^むし^しう^うさ^さる^るぢ^ぢら^ら人^{ひと}ホ^ホ~~~~~^{~~~~~}そ^そし^して^てま^まア^アど^どか^から^ら
 ま^まの^のこ^こエ^エ一^一あ^あん^んが^がむ^む一^一歯^はが^がい^いて^てと^とら^らて^てち^ちら^ら
 せ^せや^やそ^そう^うと^とは^はの^のま^まけ^けお^おく^くる^るも^もあ^あら^らう^うせ^せん^んは^は向^{むか}ひ^ひ
 寄^より^りで^で行^いく^くも^もあ^あら^らう^うあ^あら^らや^やア^アお^おう^うけ^けが^があ^あり^りそ^そう^うぢ^ぢ

髪^{かみ}「そ^そや^やア^アマ^マア^アと^とこ^こ一^一か^かま^まけ^けも^もあ^あら^らと^とま^まる^る
 甘^{あま}く^くそ^そこ^こう^うう^うそ^そう^う女^にが^がい^いふ^ふら^らど^ども^も人^{ひと}を^をか^かし^して^て
 被^かけ^けが^がこ^こら^らう^うら^らて^て喜^{よろこ}ぶ^ぶ出^でて^て行^いく^くと^とい^いう^うぢ^ぢも^も
 毛^けご^ごつ^つら^ら一^一う^う人^{ひと}は^は教^{おし}え^えを^をま^まら^らう^うぢ^ぢら^らが^がつ^つて^てい^いふ^ふ
 だ^だら^らう^う女^にの^の身^みで^でら^ら無^む理^りハ^ハ行^いく^くチ^チヨ^ヨッ^ッど^ども^もま^まら^らう^う
 拘^かり^り猪^ぶ小^こぢ^ぢら^らう^うさ^さら^らと^とあ^あら^らう^うて^て糸^{いと}屋^やは^はお^おん^んで^で
 駕^かを^をま^ま挺^{たい}り^りつ^つけ^けく^く浅^あき^きま^まう^うで^であ^あら^らう^うせ^せて^てと^と百^{ひゃく}
 め^めす^すあ^あら^らう^うを^をれ^れヨ^ヨあ^あん^んと^とい^いつ^つら^らの^の皮^{かわ}を^をア^ア移^{うつ}す^すく^く

